

※この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

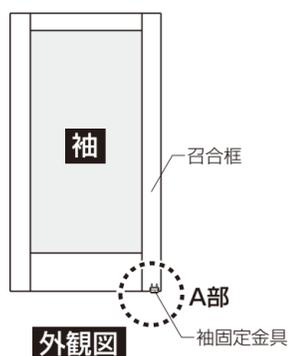
●本製品の組立て後の製品重量は、障子・袖1枚当たり最大で60kgになります。対応する人数で施工および建込みを行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

■ねじ一覧表

| イ               | ロ                 | ハ                 |
|-----------------|-------------------|-------------------|
|                 |                   |                   |
| トラス小ねじ<br>M4×10 | 皿小ねじ<br>M4×10(D7) | バンドテクスねじ<br>M4×16 |

■取付け順序

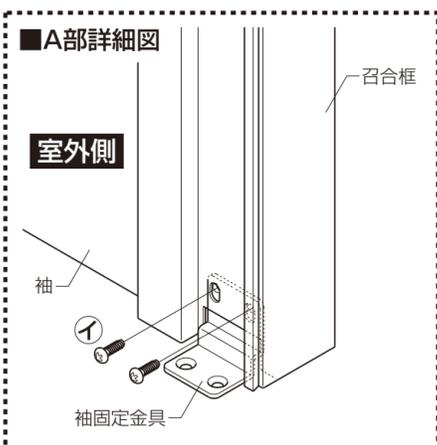
1 袖固定金具の取付け



■取付け詳細

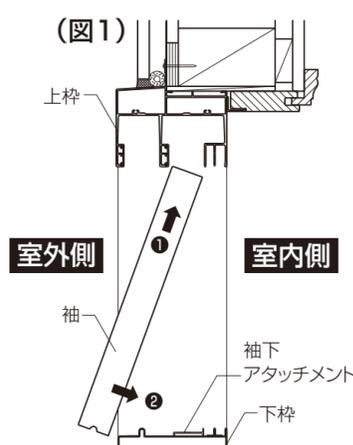
1 袖固定金具の取付け

●袖固定金具を袖の召合框に、①のねじで仮止めします。(A部詳細図)  
 ※このとき袖固定金具を、切欠きに当たるまで上げて取付けてください。  
 ※図は片袖タイプです。引分け戸タイプの場合は、袖固定金具の取付けが室内側になります。

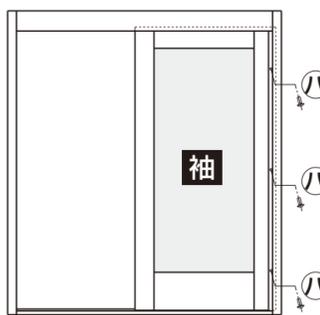


2 袖の取付け

①袖を(図1)の順に、室外側から建込みます。  
 ※このとき袖以外の障子は、建込まないでください。障子を建込んでしまうと、袖を固定できなくなります。  
 ※図は片袖タイプです。引分け戸タイプの場合は、袖が室外側に取付きます。  
 ②袖を袖下アタッチメントの上のせ、縦枠側に寄せます。



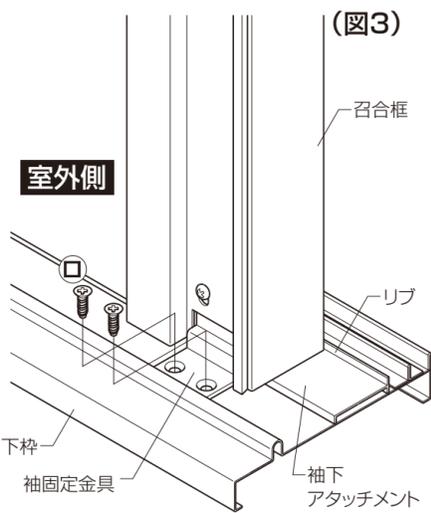
2 袖の取付け



③袖を袖下アタッチメントのリップと縦枠に押付けながら、袖固定金具を下枠に②のねじで固定します。(図2・3)

●お願い  
 ※必ず袖を、袖下アタッチメントのリップと縦枠に押付けた状態で、下枠に取付けてください。袖戸先側でねじ止めできなくなります。

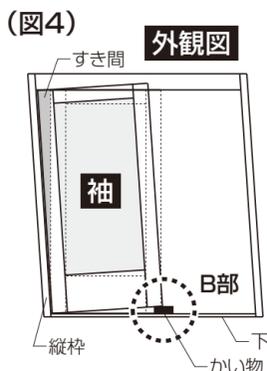
※図は片袖タイプです。引分け戸タイプの場合は、袖固定金具が室内側に取付きます。



【取付け上のポイント】

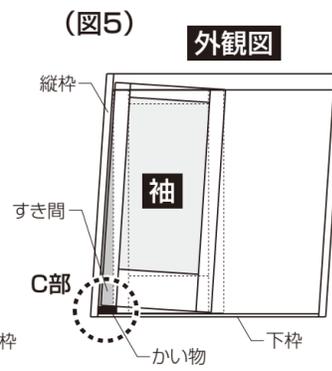
■上部にすき間がある場合(図4)

※B部にかい物をつめて、③～⑥の作業を行ってください。

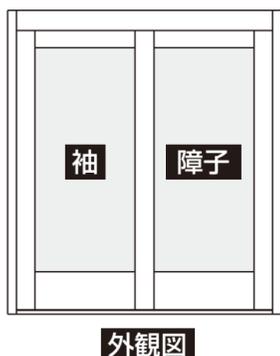


■下部にすき間がある場合(図5)

※C部にかい物をつめて、③～⑥の作業を行ってください。



3 障子の建込み

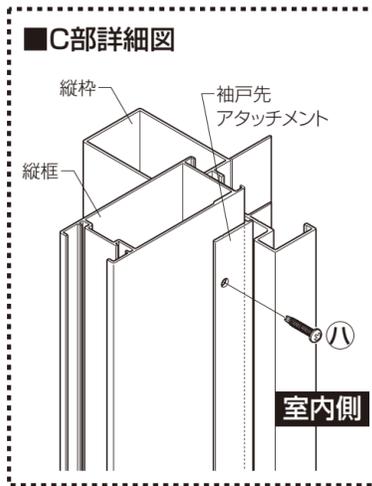
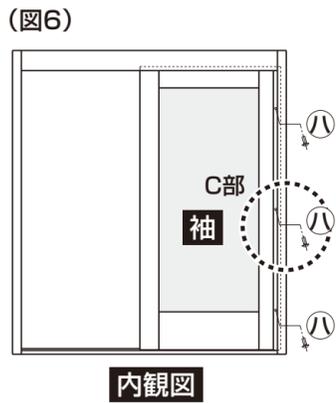


④①で仮止めた①のねじで、袖固定金具と袖を本固定します。

⑤戸先側が袖戸先アタッチメントのねじ穴すべてにかかっていることを確認してください。袖が袖戸先アタッチメントのねじ穴すべてにかかっていないと、袖戸先側でねじ止めできなくなります。(図6)

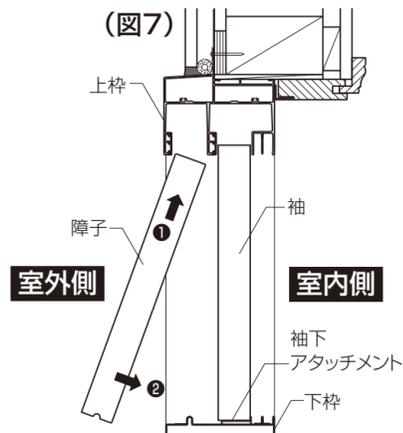
※戸先側が、袖戸先アタッチメントのねじ穴すべてにかかっていない場合は、③、④をやり直してください。

⑥袖と袖戸先アタッチメントを②のねじで固定します。(C部詳細図)  
 ※ねじ止め後、かい物を取除いてください。



3 障子の建込み

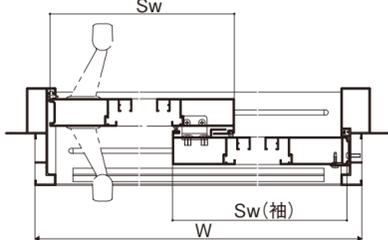
●(図7)の順に、室外側から建込みます。



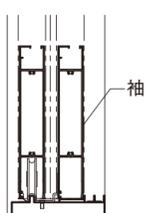
■参考基本図

【片袖】

●横断面図

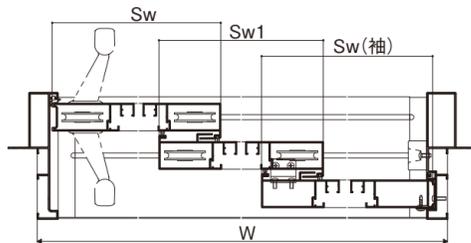


●縦断面図(下部)

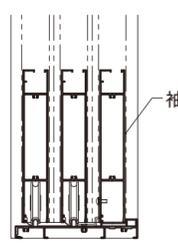


【袖付2枚引】

●横断面図

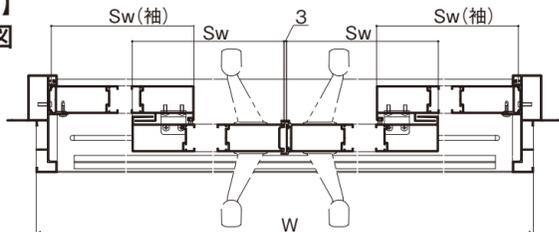


●縦断面図(下部)



【引分け戸】

●横断面図



●縦断面図(下部)

